考える

たんまつを使うと、いろいろなし点で考えたり、調べたことをまとめたりするなど、考えることを助けてくれます。ここでは、たんまつを使って考えるときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

さいしょにチェックしてみよう

- □ わたしは、いろいろなデータを上手にほぞんできると思う
- □ わたしは、調べたじょうほうを整理することができると思う
- □ わたしは、目のけんこうを守って使っていると思う
- □ わたしは、「知らない人に教えてはいけないじょうほう」がわかると思う
- □ わたしは、まずは自分の頭で考えてからたんまつを使って調べていると思う
- □ わたしは、たんまつをこわしてしまうことがないと思う

じょうほうを上手にほぞんしよう

たんまつにいろいろなデータがあります。
このデータをどのフォルダにほぞんするとよいでしょうか。

1 計算プリント

2 あさがおの写真

3 漢字プリント

4 さか上がりをしている動画

算数のフォルダ

国語のフォルダ

画像のフォルダ

かいせつへ

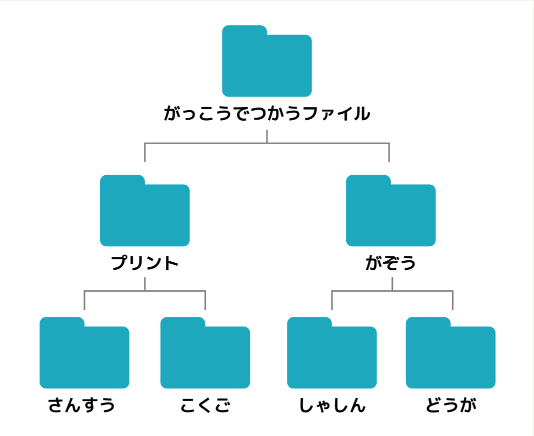
正かい

スキルのポイント

いろいろなデータをきちんと整理してほぞんすることで、次にそのデータを見たいときにさがしやすくなります。

計算のプリントであれば算数のフォルダに、漢字のプリントであれば国語のフォルダに、写真や動画であれば画像のフォルダに入れておくとよいでしょう。

ふだんの生活と同じように、データも整理整とんができるとよいですね。



考える 活用スキル

調べたことを整理しよう

「すきな食べ物」について、10人の友だちにインタビューをしたところ、次のようなけっかになりました。

調べたけっかを表で整理してみましょう。

食べ物	おすし			
人数	2			

かいせつへ

正かい

食べ物	おすし	ラーメン	からあげ	カレー
人数	2	4	3	1

スキルのポイント

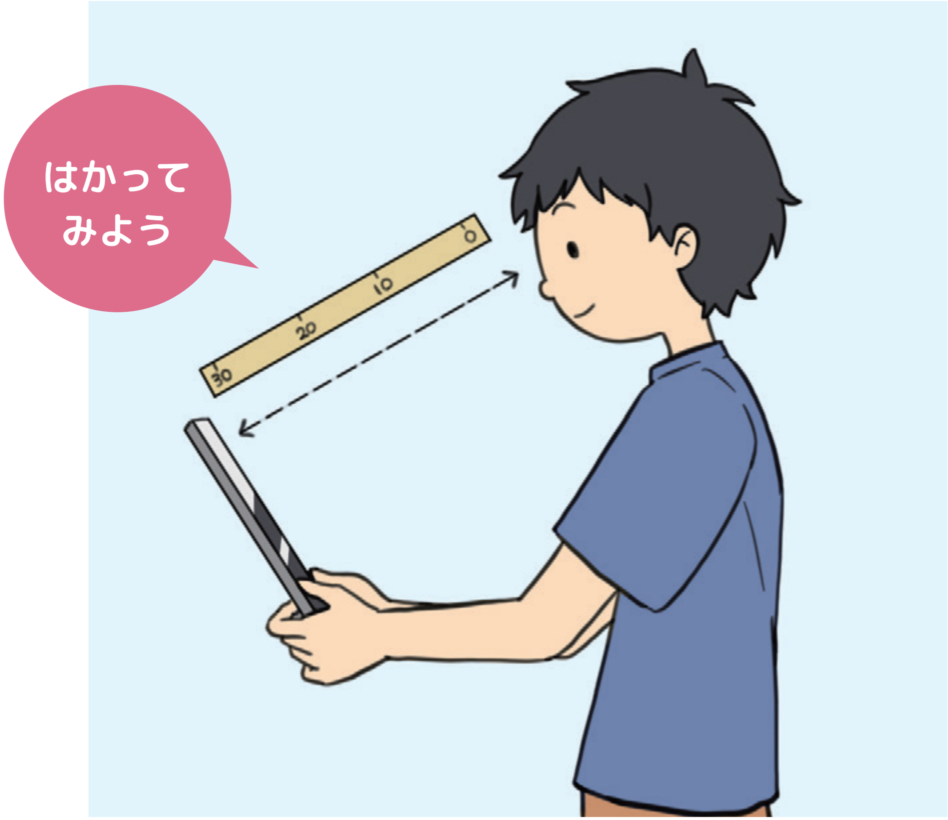
表にしてみると、ランキングを作る時に役立ちます。元々のデータからは、おすしをすきな人がどれくらいいるかパッと見てわかりませんが、表にすると一目でわかるようになります。

たとえば、10人のなかで一番人気なのは、「ラーメン」（4人）です。次は、「からあげ」（3人）、「おすし」（2人）、「カレー」（1人）となります。

目のけんこうを守ろう

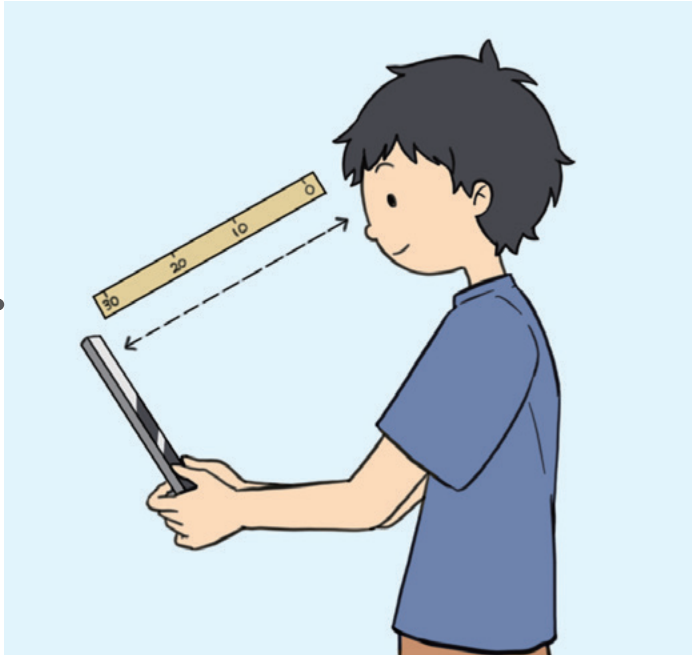
次のことをじっさいにやってみましょう。

① たんまつを持って、ふだん使っているしせいになりましょう。
② 目からたんまつまでのきょりをはかってみましょう。



かいせつへ

友だちとくらべてみよう



スキルのポイント

たんまつを使うときには、目のけんこうを守ることが大切です。
集中すると、目がたんまつに近づきすぎたり、まばたきをしないで見てしまったりすることが多くなります。
目をたんまつから30ｃｍい上はなしてみるために、どのくらいが30ｃｍなのかはかってみましょう。
また、30分に1回はたんまつから目をはなして20秒い上遠くを見たり、ゆっくりとまばたきをしたりするようにしましょう。

知らない人に教えてはいけないじょうほうとは

次のうち、知らない人にできるだけ教えないほうがよいじょうほうはどれでしょうか。

1. 自分の名前とたんじょう日
2. 自分の家の住所
3. 自分のすきな色

A 教えても問題はあまりない

B できるだけ教えないほうがよい

かいせつへ

正かい

A 教えても問題はあまりない

3 自分のすきな色

B できるだけ教えないほうがよい

1 自分の名前とたんじょう日

2 自分の家の住所

スキルのポイント

自分の名前やたんじょうび、住所などの自分がだれなのかがわかってしまうじょうほうのことを「こじんじょうほう」と言います。

こじんじょうほうは、知らない人におしえたりネットにかいたりしないようにしましょう。

わからないときにどうすればよいかな

あなたは、「キリンの首はなぜ長いのだろう？」とふしぎに思いました。
あなたはこのあとどのように行動しますか？
次の中から１つえらんでください。

1 すぐにたんまつで調べる

2 まずは予想してみる

3 すぐにまわりの大人に聞いてみる

かいせつへ

友だちとくらべてみよう

1 すぐにたんまつで調べる

2 まずは予想してみる

3 すぐにまわりの大人に聞いてみる

スキルのポイント

たんまつを使うと様々なじょうほうが調べられます。もちろんそうした方ほうで調べたり、図書室で調べたり、くわしそうな大人に聞いてみたりして、答えを見つけることも大切です。

しかし、調べたり、聞いてみたりする前に、自分で予想してみることも大切です。

「なぜなのかな」と自分で考えてから、調べたり、聞いてみたりしてみましょう。

たんまつをこわしてしまうときは

たんまつを使って学習していたら、たんまつをこわしてしまいました。
次の中から、自分が一番やってしまいそうなことをえらんでみましょう。

1 つくえのうえがちらかっていて落としてしまった

2 持ち運ぶときに落としてしまった

3 動かないので強くタップしてしまった

4 ものをはさんだままとじてしまった

5 ぬれた手でさわってしまった

かいせつへ

友だちとくらべてみよう

1 つくえのうえがちらかっていて落としてしまった

2 持ち運ぶときに落としてしまった

3 動かないので強くタップしてしまった

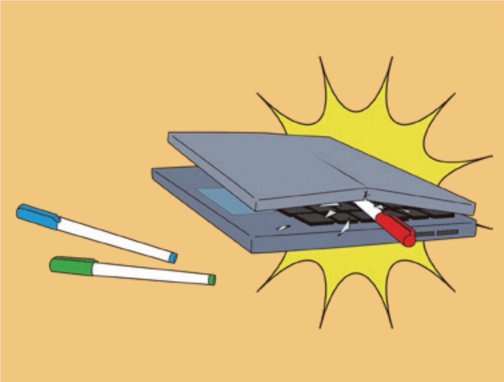
4 ものをはさんだままとじてしまった

5 ぬれた手でさわってしまった

スキルのポイント

たんまつは、落としたり、強くおしたり、ぬれた手でさわったりするとこわれてしまうことがあります。

つくえの上を片づけたり、もちはこぶときは両手でもったり、ものをはさんだままとじたりしないようにしましょう。



考える

まとめ

上手に使うために

「考える」ためには、じょうほうを整理しておくことが大切です。きちんとほぞんし、いつでも取り出せるようにしましょう。
また、目のけんこうを守りながら使うことも大切です。特に、集中して使っているときこそ、目をはなして使っているかをチェックしてみましょう。

チェックしてみよう

- ☐ わたしは、いろいろなデータを上手にほぞんすることができる
- ☐ わたしは、調べたじょうほうを整理することができる
- ☐ わたしは、目のけんこうを守って使うことができる
- ☐ わたしは、「知らない人に教えてはいけないじょうほう」をせつ明することができる
- ☐ わたしは、まずは自分の頭で考えてからたんまつを使って調べることができる
- ☐ わたしは、たんまつをこわさないようにくふうすることができる